

令和 2 年度の業務の実績に関する評価（ポイント）
（林業信用保証業務）

- ◎ 当基金の令和 2 年度に係る業務の実績に関する主務大臣の評価結果は以下のとおり。
- 1 中期目標における所期の目標を達成していると認められ、総合評価は B。
 - 2 業務の実施に当たり、理事長のリーダーシップの下、業務の進捗や予算執行の把握に努め、業務運営の効率化を図りつつ的確に業務運営が遂行されており、特に重大な業務運営上の課題は検出されておらず、計画どおり順調に業務が実施されている。
 - 3 項目別では、A が 6 項目、B が 29 項目、評価の対象外が 4 項目。

項目別の実績と評価の概要

① 融資機関等に対する普及推進・利用促進の取組

- ・ コロナ禍において計画していた現地訪問が行えなくなりましたが、新たに引受を開始したコロナ関係保証など林業信用保証制度について、資料配付や電話等により関係団体等への普及促進・利用促進を実施。



- ・ 主務大臣の評価はB。(自己評価はB。)

② 適切な保証料率の設定 【重要度：高】

- ・ 料率算定委員会において、業務収支や代位弁済の状況等を踏まえ、保証料率水準の点検を実施。
- ・ 結果を踏まえ、被保証者の財務状況等に応じた保証料率や制度資金の保証料率など必要な見直し検討に着手。



- ・ 主務大臣の評価はB。(自己評価はB。)

③ 林業者等の将来性等を考慮した債務保証

- ・ 創業初期の者については、非財務情報の検討項目の抽出と判断基準の設定を行い、保証引受の試行を開始。新分野進出者についても検討を推進。



- ・ 主務大臣の評価はB。(自己評価はB。)